

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名 <b>アブソリューション・エーユー</b>	投球者 <b>徳江 和則</b>	センター <b>平和島スターボウル</b>
RG <b>2.450</b>	△RG <b>0.019</b>	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

**テストボール**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  5 インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

番

**比較対照ボール：アブソリューション・ジェット**

フレアーの幅  インチ

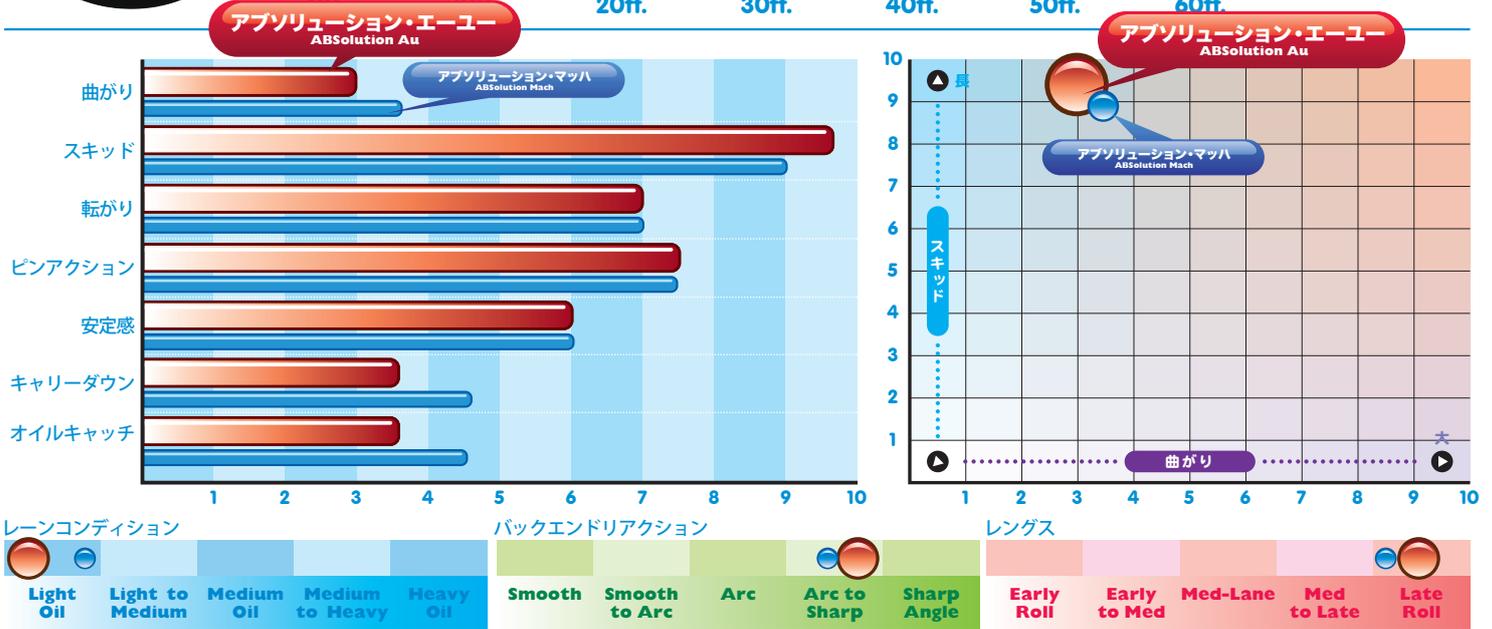
PAPからピンとの距離  5 インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



### ボールの評価

走りのスペシャリストシリーズ第5弾。アブソリューションからシリーズ最速と言えるボールが発売されます。その名はABSolution AU(angstrom unit)。今まで過去作られたアブソリューションシリーズで最も走り、最もライトなコンディションで使用できるスペックな為、開発ナンバーから付けられたコンセプトが”MACH(音)からAU(光)へ”。多分これ以上リアクティブ素材では走らせることは出来ないであろう限界値への挑戦でもあります。今まで発売されたアブソリューションでの比較で表記すると、走る順番としてAU、MACH、EXPRESS、RAPID、JETの順になり、今回のカバーストック硬度は類をみない80°前後で、真の走りを感じれるのがこのアブソリューションAUです。投球したイメージは開発コンセプト通り、手前のオイルの薄さを感じずに容易に走るイメージがあります。今回のスペックは高度が80°近いこともあり、伸びたオイルや全体的なオイル量にかなりリアクションが激しく感じると思います。私ぐらいのタイプであれば、相当オイルが薄い状態、もしくはショートなコンディションでない限り使い道はないと思われます。ですのでフランチャイズが遅いコンディションであったり、スピードがなく普段のボールでは曲がり過ぎてしまう女性の方には有効なボールとも言えます。試合の後半、遅くなったコンディションで外目のタイトなラインを使いたい場合にもこのボールは武器となるでしょう。硬度を80°にしても衝撃吸収システムを採用しており、他のハード系ボールよりピンアクションは遥かに良く仕上がっています。

### 特記事項

**ドライコンディションの決定版。シリーズ最速を誇る走りは他のボールを寄せ付けません。AU(angstrom unit)の表す”光”で真の走りを実感してください。**